教育目標：自ら学ぶ力と自ら育む力をもつ　心豊かで主体的な児童の育成

あらしょう

荒川沖小学校だより
令和３年７月１日
第３号

今日から７月！

海開き，山開きの便りが届く頃となりましたが，保護者の皆様にはますますお健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて，いよいよ７月に入り，夏休みまで残り３週間ほどとなりました。これまでのお子さんのご家庭での生活の様子はいかがだったでしょうか。７月26日（月）からは個別面談も予定しています。担任から学校での学習や生活の様子についてお話しさせていただきます。その際，ご家庭での様子について保護者の皆様からお伺いしたいと思います。お子さんのことについて，情報等を交換・共有しながらお子さんの健やかで豊かな成長に繋げていきたいと考えています。

今後とも，本校教育活動にご理解とご協力のほど，よろしくお願いいたします。

管理員さんが，花壇にサルビア，マリーゴルド，日々草を植えてくれました。

子供たちは，季節の変わり目を実感しています。

小学生の交通事故の特徴（茨城県警：平成30年～令和2年）

先月28日(月)，千葉県で下校中の小学生の列にトラックが突っ込み，児童５人が死傷する事故が起きました。例年，夏休み前のこの時期は，小学生の交通事故が起きやすくなる傾向が見られます。

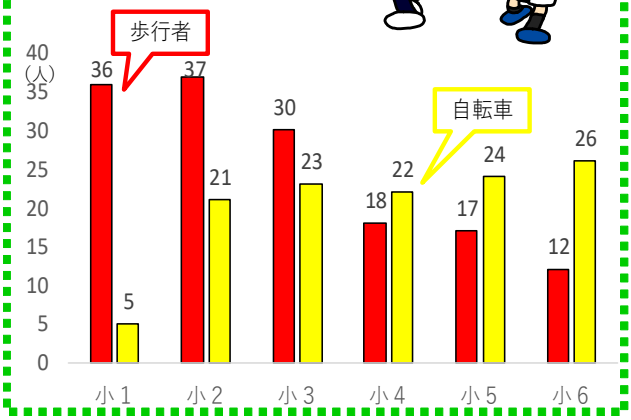
各家庭でも交通安全のために必要なことを確認し合ってみてください。

○ 小学生の自転車･歩行者の学年別死傷者数

・ **小学生低学年は歩行者、高学年は自転車が多い**

自転車 121 人

歩行者 150 人

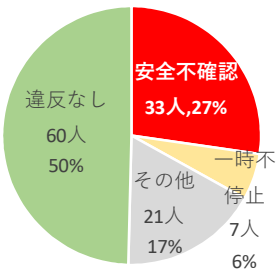


○ 小学生の自転車･歩行者の事故の原因

・ **自転車は安全不確認、歩行者は飛び出しが多い**

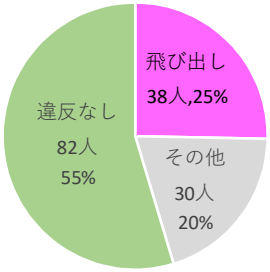
自 転 車

死傷者数 121 人



歩行者

死傷者数 150 人



聞くことの大切さ

私たちが，普段コミュニケーションをしている中で「伝えること」と「聞くこと」は，常にセットになっています。「伝える力」を育てるためには，まず「自分とは違う考え方があること」を知ることです。できるだけ多くの友だちと関わり，多様な意見にふれさせることを通して，いろいろな意見があることを知り，少しずつ自己中心の考えが押さえられて，新しい考えが広がっていきます。

次に「伝える力」は，周囲の人たちの「聞く」姿勢があって初めて育ちます。周りに「聞いてくれる環境」がないと「伝える力」は育たないのだそうです。ご家庭でも，食事の後片付けや携帯メールを打ちながら子どもの話を聞いていると，次第に子どもが話をしなくなったという経験はありませんか。反対に，真剣に話を聞く姿勢をつくると，次第に心の中を話し出すようになるそうです。「話す」という行為は，「聞いてくれる人」がいるから話せるようになってくるのです。ですから，学校の授業でも，まずはしっかり「聞く」態度を身に付けさせたいと考えています。

授業参観ありがとうございました

先月24(木) ２校時， ４校時に授業参観を実施しました。来校された保護者の方からは，「学校生活の様子が分かった。」「ベランダからでも参観できてよかった。」等のご意見をいただくことができました。また，アンケートからも， ９割の保護者の方が，「制約がある中でも実施した方がよい。」との回答を得ました。

昨年度は，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，保護者参加による学校行事は実施しませんでした。しかし今年度は，今後もコロナ対策をした上で学校行事を実施していく予定です。保護者の皆様には人数制限等の制約のためご不便をおかけしますが，ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

１年生

２年生

３年生

４年生

５年生

６年生